

内 部 監 査 報 告 書

確 認	確 認	受 付	被監査部課	内部監査チーム
			 	  
作 成 日	平成 29 年 7 月 27 日		被 監 査 課	商業・市街地活性課
監 査 日 時	平成 29 年 7 月 27 日 11 時 00 分～12 時 00 分		被 監 査 者	松江 良文
内部監査員 氏 名	飯島 剛 野牧 克之		相互内部監査員 所属 及び 氏名	商工会議所 鷺津 一彦 同上 越高 靖子
指摘区分	章番号	指摘の内容		
マニアル 7.1 賞賛事項	4・3・1	様式 431-3 (2/2) りんご並木活性化事業並木クリーンアップでイベント等終了後、参加者が自主的な清掃活動が定着していること、年間数値目標 (10 回) を達成できたことは、環境方針 2-②に資するもので評価に値する。今後とも、綺麗な街づくりの意識が参加者に定着するようお願いしたい。		
マニアル 7.2 改善の機会	①是正処置を要する改善の機会 (不適合) → 様式 9-4「改善の機会対策報告書」作成 ②被監査課に対する改善の提案 → 様式 9-4 作成不要			
①是正処置を要する改善の機会 (不適合) ・是正処置は監査日から 2 か月以内に完了		なし		
②被監査課に対する改善の提案		【改善提案に対する処理状況は、翌年度の内部監査で確認します。】 なし		
マニアル 7.3 気づき事項 (軽微な文書上の不備等)		【気づき事項に対する処理状況は、翌年度の内部監査で確認します。】 なし		
マニアル 7.4 システム提案 (事務局への提案 具体的な解決方法を含む。)		・ 様式 4・6-2・事務事業進行管理表からでは、飯田市地球温暖化防止実行計画に定める削減状況が分からず、環境マネジメントシステムの取組が見えてこない。すなわち、環境影響の少ない事務事業や、事務事業の目的や内容が環境の保護や改善等に関するものでない場合には、環境目標は定着事項ということになり、様式 4 の 2 「順守義務」、3 「リスクと機会」は『なし』という評価結果になるとともに、事務事業進行管理表の (環境 ISO 管理) は空欄になる。これでは、飯田市役所が全庁あげて EMS に取り組んでいることが、外部に確信されない怖れが大きい。定着事項であっても PDCA による不断の職員個々の実践と改善が必要であろう。市民に、市役所の取組状況が伝わるような工夫が欲しい。		
その他の 特記事項				

市民協働 環境部長 処 理 欄	賞賛事項の水平展開	指 示	確 認	
	要 (否)	付 前	環境・まちづくり 推進部長 印	

- 【注】 1 内部監査員は、監査実施後7日以内にチームリーダーに報告します。
 2 この環境記録は、市民協働環境部長、事務局の確認後、各課で保管します。